

災害時に必要な男女共同参画の視点とは？

近年、日本各地で、自然災害が発生し避難指示が出るなどの事態が多くなっています。そのような中で、防災・災害分野における男女共同参画の視点の重要性が増しています。避難生活においては、一人ひとりの人間の尊厳、安全を守ることが重要です。その中で避難所では、いまだに次のような状況が報告されています。

- ・女性専用更衣室がない
- ・女性は当然のように、1日中炊き出しや片付けに追われた
- ・一部の責任ある立場の男性への負担集中

などです。このようなことにならないように、避難所の開設・運営においてどのようなものが必要か下記のチェックシートで考えてみましょう。



避難所チェックシート☑

- 異性の目線が気にならない物干し場、更衣室など
- 乳幼児のいる家庭用エリア、授乳室
- 単身女性や、女性のための世帯用エリア
- 安全で行きやすい場所の男女別トイレ・入浴施設の設置
- 管理責任者への男女両方の配置
- 自治的な運営組織の役員への女性の参画を確保
- 女性用品の女性の担当者による配布
- 避難者による食事作り・片付け、清掃等の役割分担
- 女性や子育て家庭の意見及びニーズの把握
- 防犯ブザーやホイッスルの配布

相談の御案内

相談内容	施設名	受付日	相談時間	電話番号
悩み事相談	埼玉県男女共同参画推進センター (With You さいたま)	月～土 (祝日、第三木曜除く)	10:00～20:30	048-600-3800
男性のための電話相談		毎月第3日曜日	11:00～15:00	048-601-2175
仕事・就職関連相談	埼玉県女性キャリアセンター	月～金	10:00～11:30 12:30～16:30	048-601-1023
DV関連相談	埼玉県婦人相談センター	月～土	9:30～20:30	048-863-6060
DV関連相談		日・祝日	9:30～17:00	
DV関連相談	東松山警察署生活安全課	月～金	8:30～17:15	0493-25-0110
男女共同参画・DV相談	吉見町役場政策財政課	月～金	8:30～17:15	0493-54-5026

編集後記

今回の講演会で男女がお互いを尊重し家族でコミュニケーションをとることの大切さを改めて認識しました。

男女共同参画について、ご意見等ございましたら、お気軽に事務局までお寄せください。よろしく申し上げます。

(柴)

事務局 吉見町政策財政課政策調整係
吉見町大字下細谷411番地
電話：0493-54-5026
FAX：0493-54-4200
企画・編集 吉見町男女共同参画推進委員会

令和元年度
通巻
第21号

ほほえみ



吉見町男女共同参画講演会

令和2年2月22日
フレサよしみ大ホール

特集

- ・吉見町男女共同参画講演会レポート
- ・男女共同参画社会について『推進委員からひとこと』

～男女がお互いの権利を尊重し、その個性と能力を発揮することができる社会をめざして～

愉快!痛快!理解!男女共同参画社会って何?

～家族の絆が未来を豊かに～

はやしや そめじ
講師:林家 染二氏

日時 令和2年2月22日(土)午後2時00分～午後3時40分

会場 吉見町民会館「フレサよしみ」大ホール

主催 吉見町

共催 吉見町教育委員会 吉見いちご学級

協力 吉見町男女共同参画推進委員会

協賛 『人権尊重社会を目指す県民運動』

令和2年2月22日(土)吉見町民会館「フレサよしみ」で、男女共同参画への理解を深めるため、講師に落語家の林家染二さんをお迎えし、「愉快!痛快!理解!男女共同参画社会って何?～家族の絆が未来を豊かに～」の演題で講演会が開催されました。

当日は、落語も交えた講演が行われ、約250人の方々にご来場いただきました。

まず、60分間、男女共同参画とは男も女も互いに権利が守られて、互いに責任を果たすことで、男女がお互いのために協力することが大事だと、自身の家族のお話や学校で行った講演などの体験から、男女共同参画社会について考える講演がありました。

続いて、30分間、男女共同参画の話題を交えながら落語を披露され、会場が笑いのうずには包まれました。

男女共同参画に関する小話等、観客席の皆さんは楽しく男女共同参画について学び、会場からは何度も大きな拍手が沸き起こりました。

来場者の感想

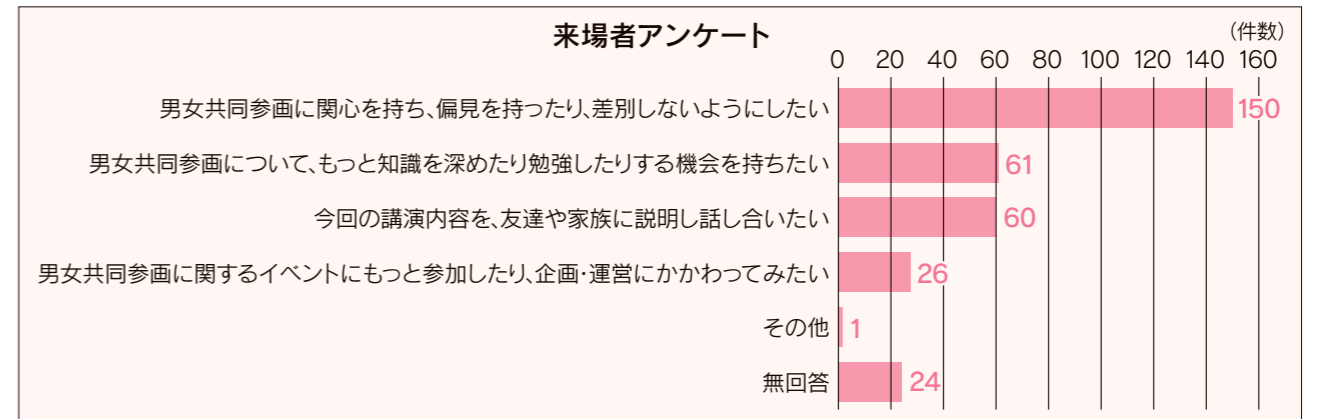
- ・落語だけでなく、いろいろなお話がありとても感動しました。
- ・若い年代に聞いてほしいと思った。
- ・話の内容がとても分かりやすく興味深い話としてまとめていたことが素晴らしかった。
- ・今まで自分ができていなかったことを考えさせられる内容が多々あり、非常に参考になりました。

このほかにも皆さんから多くの感想をいただきました。



来場者アンケートから

質問 講演会に参加して、何か行動しようと思いましたが(複数回答可)



講演会に参加した多くの方が男女共同参画について、何か行動しようと思っただけでいるようです。

主にやってみたいこととして、男女共同参画に関心を持ち、偏見を持つたり、差別をしないようにしたい、もっと知識を深めたり、勉強したりする機会を持ちたい、友達や家族と講演会の内容を話したい、男女共同参画に関するイベントに参加したり企画・運営にかかわってみたいなどの意見がありました。

この講演会に参加した方が行動を起こし、周りの方に影響を与えることで、男女共同参画の輪が広がり、男女共同参画社会の実現に近づくとはいえないかと思えます。

男女共同参画社会について 『推進委員からひとこと』



自分らしく

「えっ、女の人があんな大きなトラックを運転している。」思わず目を丸くしたあの日から何年も経つ。

今では、男性が多く働く職場の中で女性が働いている姿を見るのは当たり前のこととなった。タクシーの運転手、大工、塗装関係…。その逆もある、男性の看護師、保育士、幼稚園の先生…。

ある二十代のお父さんは、奥さんが友達とのランチ会の間、九月のお子さんを見ていた。また、食堂の座敷からお腹の大きな奥さんが降りてきて靴を履くときに、屈んでかかとをきちんと入れてあげていた三十代のお父さんがいた。どちらも四十年前の私の子育て時代には考えられなかったと感心した。

男女共同参画社会とは「男女がお互いを尊重し合い、あらゆる分野で性別にかかわらず個性と能力を十分に発揮し、喜びや責任を分かち合うことができる社会」といわれている。その根本にあるものは「人権尊重」である。吉見町でも、男女別の記載がないアンケートを実施しているところもある。

町内のある小学校では、PTA役員が全て女性、もちろん会長も女性という時期があった。さらに、昨年度の運動会で3人の応援団長がすべて女の子という小学校もあった。また、1年間しっかりと育休をとり、多くの家事と保育園の送迎を行っていた町内の男性もいた。時代が進むとともに、自然に男女共同参画社会になってきているのではないだろうか。

男女の枠を越え、個性を大事にし、1人の人間としてお互いを尊重し合っていきたい。男だから女だからではなく、できる人がやればいい。そして、誰のものでもない自分の大切な人生のために、自分らしく生活していきたいと思う。

男女共同参画推進委員 加藤 千枝子